

高病原性鳥インフルエンザの疑い事例の発生について

平成 22 年 12 月 16 日(木)に高岡古城公園動物園から西部家畜保健衛生所に搬入し、2 羽のコブハクチョウ(お堀で飼育)について鳥インフルエンザの簡易検査を受けたところ、1 羽が陽性、1 羽が陰性となり、更に詳しい検査の実施中です。

1 発生概要

- ・動物種：コブハクチョウ
- ・管理者：高岡市 高岡古城公園動物園

2 経緯

12 月 16 日(木)

- ・動物園管理者がコブハクチョウ 2 羽の死亡を確認(8:15)
- ・西部家畜保健衛生所が簡易検査で 1 羽の陽性を確認(11:00)
- ・東部家畜保健衛生所(病性鑑定施設)へ検体を搬入(12:10)

今後の予定

- ・東部家畜保健衛生所でウイルスを分離し、検査が陽性であれば(独)動物衛生研究所に検体を搬送。その後、検査でウイルスが確認されれば高病原性鳥インフルエンザの発生を確定。

3 本市の対応

- ・高岡市危機管理指針に基づく高岡市高病原性鳥インフルエンザ対策本部を設置しました。
- ・動物園は当分の間、閉園します。
- ・動物園内の消毒を実施しました。

4 報道機関へのお願い

発生現場への取材は、本病まん延を引き起こす恐れもあることから、誠に慎むようお願いいたします。

今後とも、本病に関する情報提供に努めていきますので、問い合わせ等は下記にお願いいたします。

鶏卵、鶏肉を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染することは世界的にも報告されていません。

事務担当：本部事務局(花と緑の課)

電 話：0766-20-1419